

令和6年度

防災マニュアル



学校法人別府大学
明星小学校

明星小学校 防災マニュアル

目 次

危機管理体制の整備

- 1 校内防災委員会の設置・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2 防災教育年間計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 3 災害時配備体制（休日・夜間時）・・・・・・・・・・ 4
- 4 児童生徒等の安否確認と連絡体制（休日・夜間・登下校時）・・ 5
- 5 施設設備の安全管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
 - （１）施設設備等の安全点検 （２）安全対策の実施
 - （３）非常持ち出し品・備蓄品の点検

危機管理体制（地震・津波・火山災害）

- ・ 地震・津波避難対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
 - 参考資料：大分県教育委員会防災・避難対策マニュアル
- ・ 火山災害避難対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 1
 - 参考資料：大分県教育委員会防災・避難対策マニュアル
- ・ 鶴見岳・伽藍岳が噴火した場合・・・・・・・・・・ 1 4
 - 出典：大分県火山防災マップ（P9・10）
- ・ 地震避難訓練内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 6
- ・ 災害時の児童引渡し・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 8
- ・ おおいたマイ・タイムライン～わが家の避難計画～・・・・・・ 2 1

1 校内防災委員会の設置

- 1 学校の防災の充実を図るため、校長を委員長とする防災委員会を設置する。
- 2 委員は防災管理者（教頭）をはじめ事務、教務主任、安全担当、生活指導主任、養護教諭、学年主任で編成する。
- 3 委員会の開催は定例会と臨時会とし、計画的に開催する。
- 4 防災委員会は警報等が発令された時は警戒本部となり、災害が発生した場合は対策本部となる。
- 5 防災委員会は次の事項について審議する。
 - (1) 学校防災についての研究・調査に関すること
 - (2) 学校防災マニュアルの立案に関すること
 - (3) 校舎内外の施設、設備等安全管理に関すること
 - (4) 避難訓練をはじめとする防災教育の充実に関すること
 - (5) 教職員の研修等に関すること
 - (6) 関係機関との連携に関すること
 - (7) 学校施設が避難所となった場合の協力体制に関すること
 - (8) その他、学校防災の推進・運営に関すること

防災委員会編成表

委員名	職名	氏 名	平常時担当	災害時担当
委員長	校長	米持武彦	総務（庶務）	災害対策本部長
副委員長	教頭	田中 肇	・校内防災体制の見直し ・保護者・地域等関係機関との連携体制の構築	副本部長（情報収集等）
委員	教務主任	野中洋克		安否確認・避難誘導班長
委員	安全担当	福原有将	安全管理担当	安全点検・消火班応急復旧班長
委員	生活指導主任	古椎賢一	・施設・設備の安全点検 ・防災教育（防災訓練）担当	
委員	養護教諭	大塚 愛	・推進計画、指導計画の作成 ・学校保健安全計画	
（委員）	（1年主任）	上村のぞみ	安全点検	
（委員）	（2年主任）	須股仁美	安全点検	
（委員）	（3年主任）	恵藤 昇	安全点検	
（委員）	（4年主任）	古椎賢一	安全点検	
（委員）	（5年主任）	野中洋克	安全点検	
（委員）	（6年主任）	時枝智美	安全点検	

2 防災教育年間計画

<ねらい>

「自他の生命を尊重し、災害発生時に適切に判断し、主体的に行動できる児童の育成」

低学年：身の回りの災害について知り、近くの人に従うなど、安全で適切な行動がとれるようにする。

中学年：地域の自然や災害について知り、自ら安全で適切な行動がとれるようにする。

高学年：我が国の自然や災害のメカニズムについて知り、様々な場面に応じて自ら安全で適切な行動がとれるようにする。また、他の人々の安全にも気配りできるようにする。

月	教科・学級活動	内 容	行事・訓練等	防災管理・組織活動
4	学級活動 (全学年) 社会(3年) 生活(1, 2年)	災害時の正しい行動の仕方 わたしたちのまち 安全な生活		第1回校内防災委員会 教職員研修 (危機管理対応) 安全点検日
5	理科(4年)	天気と気温	防災訓練 (地震・火災)	安全点検日
6	学級活動 (全学年)	「おかしも」の約束 低学年：身の守り方 中学年：安全な避難場所 高学年：地域の避難場所		防災安全点検 安全点検日
7	体育(5年)	けがの防止		安全点検日
8				教職員研修(救命講習) 安全点検日
9	家庭科(6年) 社会(4年)	快適な衣服と住まい【家具の 固定】 郷土をひらく	防災訓練 (地震・火災)	安全点検日
10	学級活動 (全学年)	合同訓練の参加の仕方		安全点検日
11	総合学習(5年)	防災マップづくり	別府市合同防災訓練 (地震・津波)	(地域防災訓練) 安全点検日
12	学級活動 (全学年)			防災安全点検 安全点検日
1	理科(6年)	大地のつくりと変化		安全点検日
2	図工	防災ポスター	不審者対応避難訓練	第2回校内防災委員会 AED点検 安全点検日
3				安全点検日

3 災害時配備体制（休日・夜間時）

配備体制	災害		教職員配置と対応
	風水害	地震・津波	
警戒体制	警報 大雨・洪水 暴風・暴風雪	震度 4	＜教職員＞校長・教頭・事務（局・部）長 ＜対応＞ ① 施設設備の被害の確認と報告 教頭→校長→理事長 ↑↓ 事務（局・部）長 ※復元は報告後 ② 授業の有無決定と報告
特別警戒体制	相当規模の被害の発生又はそのおそれのある場合	震度 5（弱） 津波警報	＜教職員＞校長・教頭・安全担当 ※学校から 5 km 以内の教諭等をあてる ＜対応＞ ① 施設設備の確認と報告 教頭→校長→理事長 ↑↓ 事務（局・部）長 ※復元は報告後にする。 ②（状況により）児童の安否確認・授業有無の決定
非常体制	甚大な被害の発生又はそのおそれがある場合	震度 5（強） 以上 大津波警報	＜教職員＞全教職員が配置 ＜原則＞学校に出勤 ＜出勤できない場合＞ ・途中の情報を持って、学校長に報告・指示を受ける ＜対応＞ ① 教職員の安否被害確認 職員一斉送信→校長→理事長 ② 生徒の安否確認・授業有無の決定 担任→学年主任→校長（教頭） ③ 施設設備の被害確認と報告 各室管理者→教頭→校長→理事長 ↑↓ 事務（局・部）長 ※復元は報告後にする

4 児童生徒等の安否確認・連絡体制（休日・登下校時・夜間時）

<地震発生の場合>

震度	安否確認	連絡手段
震度4以下	×行わない	×
震度5弱	△被害状況により校長判断	連絡手段順位 ①電話連絡 ②家庭訪問 ③避難所訪問 ※ スマート連絡帳 ※ 学校ホームページ
震度5強以上	○全員行う	

<安否確認時の内容>

- 児童及び家族の安否・けがの有無
- 被災状況（児童の様子・困っていることや不足している物資等）
- 居場所・今後の連絡先・連絡方法 等

<資料1>

保護者引き渡しカード

年 組 番		氏名	
住所			
保護者名		緊急連絡先	
兄弟姉妹	年 組 氏名	年 組 氏名	
	年 組 氏名	年 組 氏名	
特記事項			

引き取りに来る方の氏名	続き柄	連絡先	引き渡し日時
			月 日 時 分
			月 日 時 分

保護者引き渡しカードについて

カードは児童ごとに作成する。2部作成し、1部は学校で、もう1部は各家庭で保管する。

5 施設設備の安全管理

(1) 施設設備等の安全点検

① 定期の安全点検

- ・施設管理責任者（火元責任者）一覧による毎月（毎学期）の安全点検と併せて、防災点検を毎月20日前後に行う。

② 臨時の安全点検

- ・入学式、卒業式、運動会等の学校行事の前後、暴風雨・地震・近隣での火災等の災害時に必要に応じて実施する。
- ・安全性に関する新たな知見が示された際など実施する。

③ 日常の安全点検

- ・毎授業日ごとに児童が最も多く活動を行うと思われる箇所について点検を実施する。
- ・施設を日常的に使用する者として日々活動する中で施設設備の不具合を見つけ危険箇所の把握に努める。

④ 避難経路・避難場所・通学路危険箇所の点検

- ・校内避難経路の点検
定期の安全点検日に併せて、点検を実施する。
- ・通学路危険箇所の点検
一斉下校時に併せて実施する。

⑤ その他（学校施設設備の状況整理）

- ・校舎図・電気配線図、水道配管図、電話配線図等の整理（担当：事務部長）

(2) 安全対策の実施

- ・施設設備の安全点検後の対策については、ロッカー、棚などの固定、書棚等の上に重量物を置かない、薬品の容器等の飛び出し防止対策等、学校で可能な対策についてはすみやかに実施する。

(3) 非常持ち出し品・備蓄品の点検

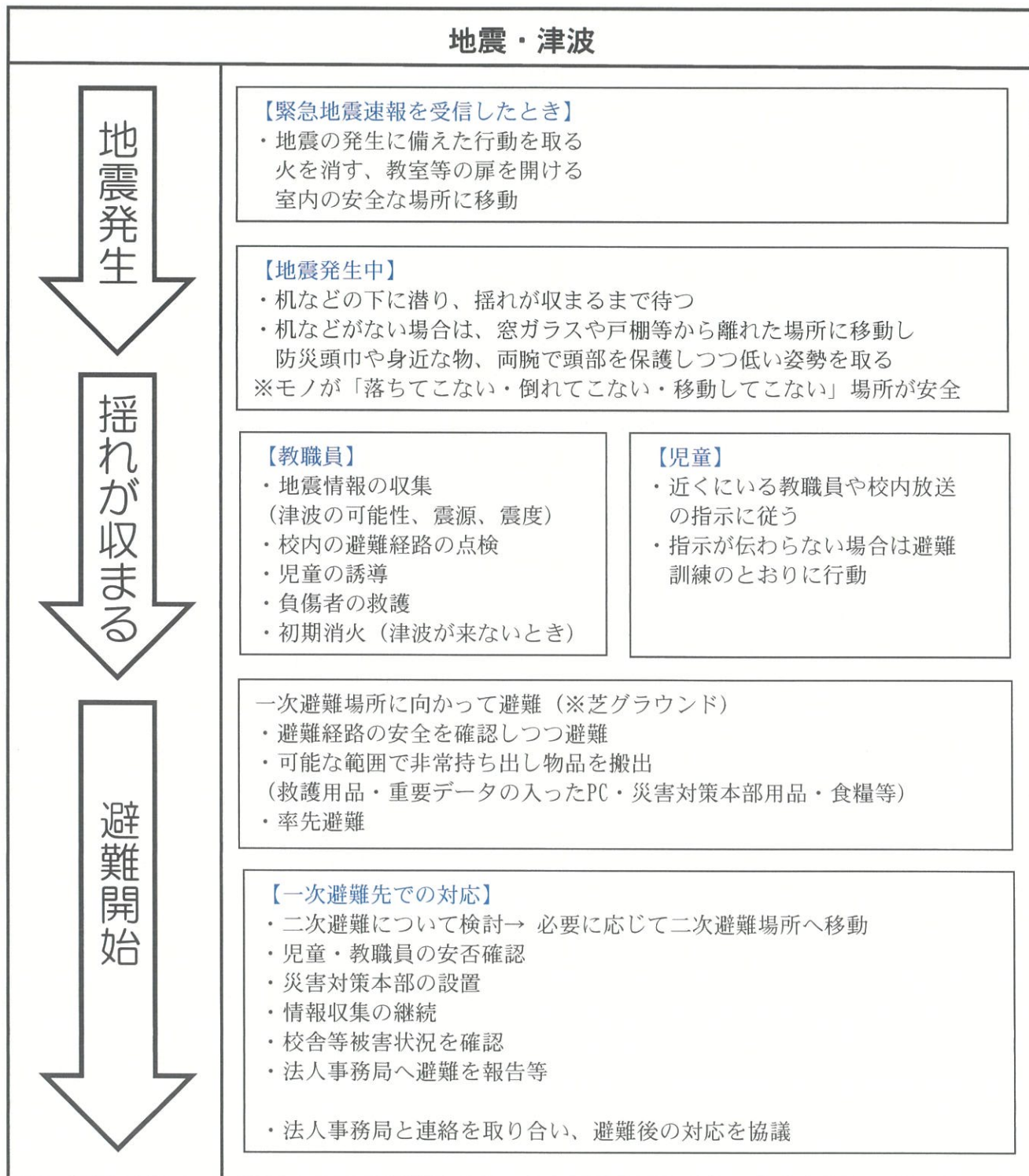
- ・毎月の安全点検日に点検を実施する。

地震・津波の避難対応

① 在校時の対応

まずは、地震の揺れから自分の身を守る行動を取り、揺れが収まったら、避難経路の安全を確認しながら、安全な場所へ避難を開始する。

避難対応（在校時）



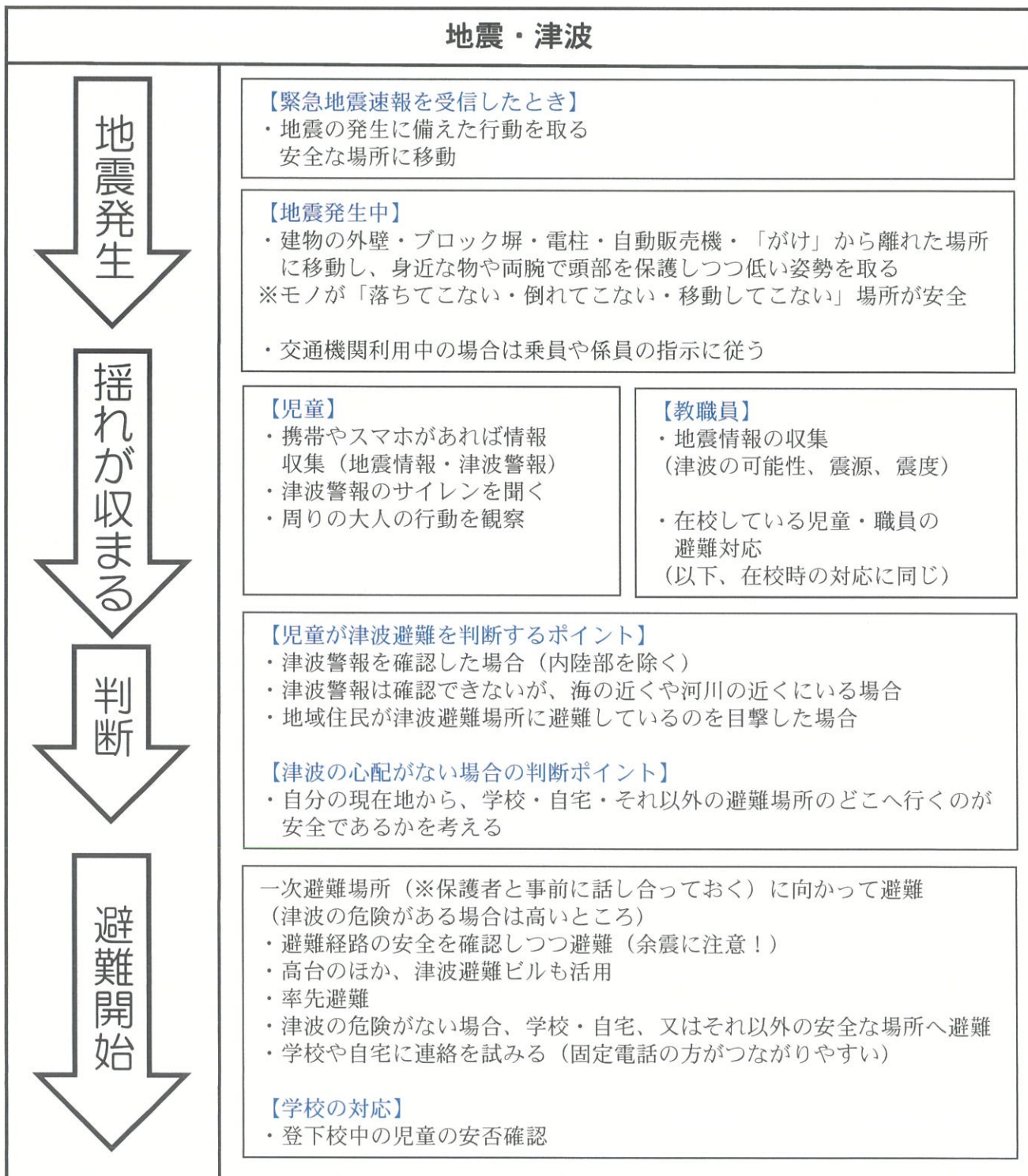
② 登下校中の対応

登下校中に地震が発生した場合は、まず地震の揺れから身を守る行動を取る。

揺れが収まった後に、津波の危険がある場合は近くの高台や津波避難ビルへ避難する。

鉄道やバスに乗車している場合は、乗員や駅員の指示に従う。

避難対応（登下校時）

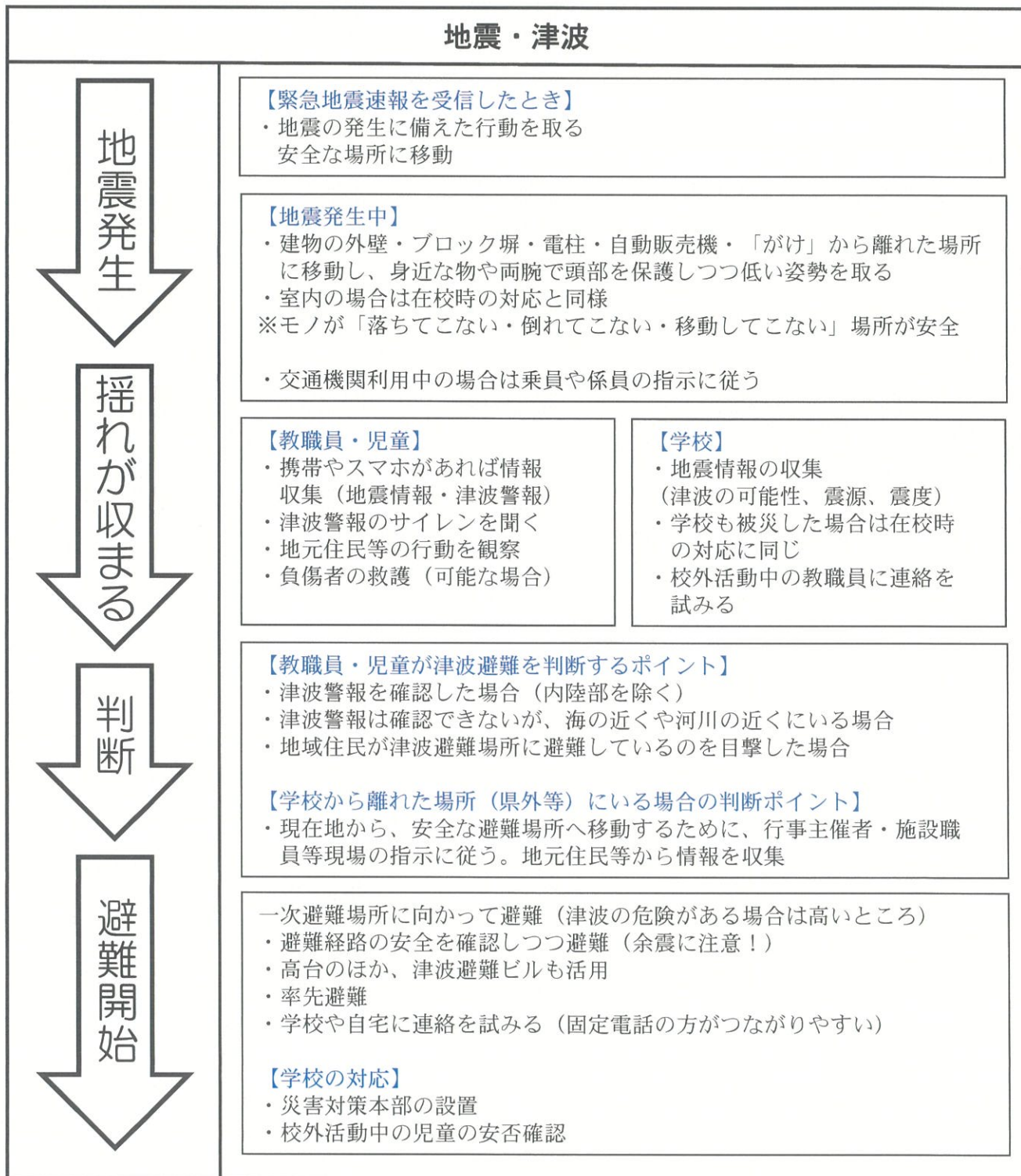


③ 郊外活動中の対応

登下校中の対応に準じた避難対応になる。

県外など地理的になじみのない地域に出かけるときは、行き先の地図で地形などを確認しておく。（ハザードマップをインターネット上で確認する）

避難対応（郊外活動時）

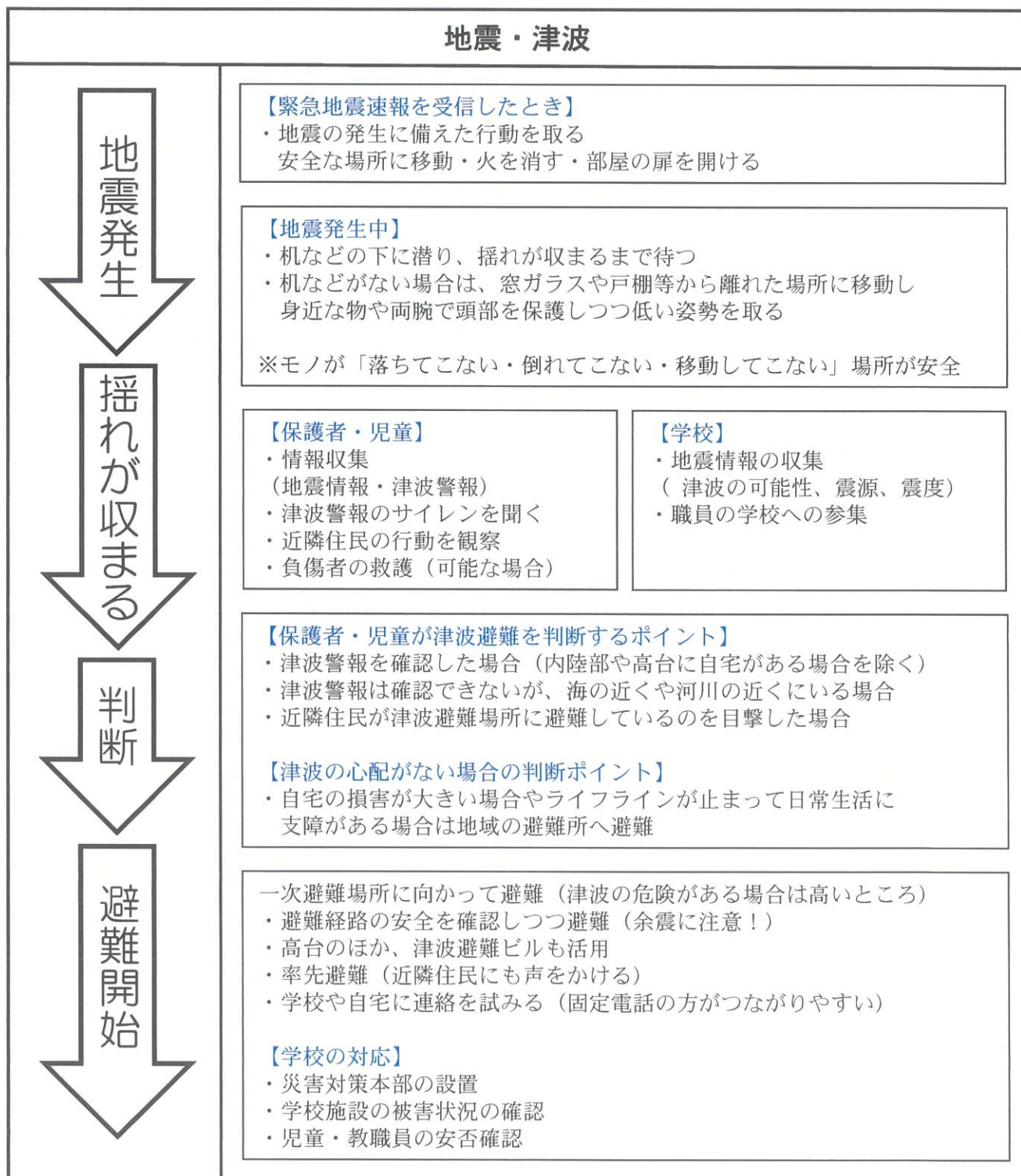


④ 休日・夜間（児童在宅時）の対応

児童が在宅しているとき、各家庭で家具の固定や整理整頓がなされていない場合は、地震の揺れによって児童や家族が負傷する可能性が高くなる。

そのため保護者に対して家庭での防災対策について啓発していく。

避難対応（児童在宅時）



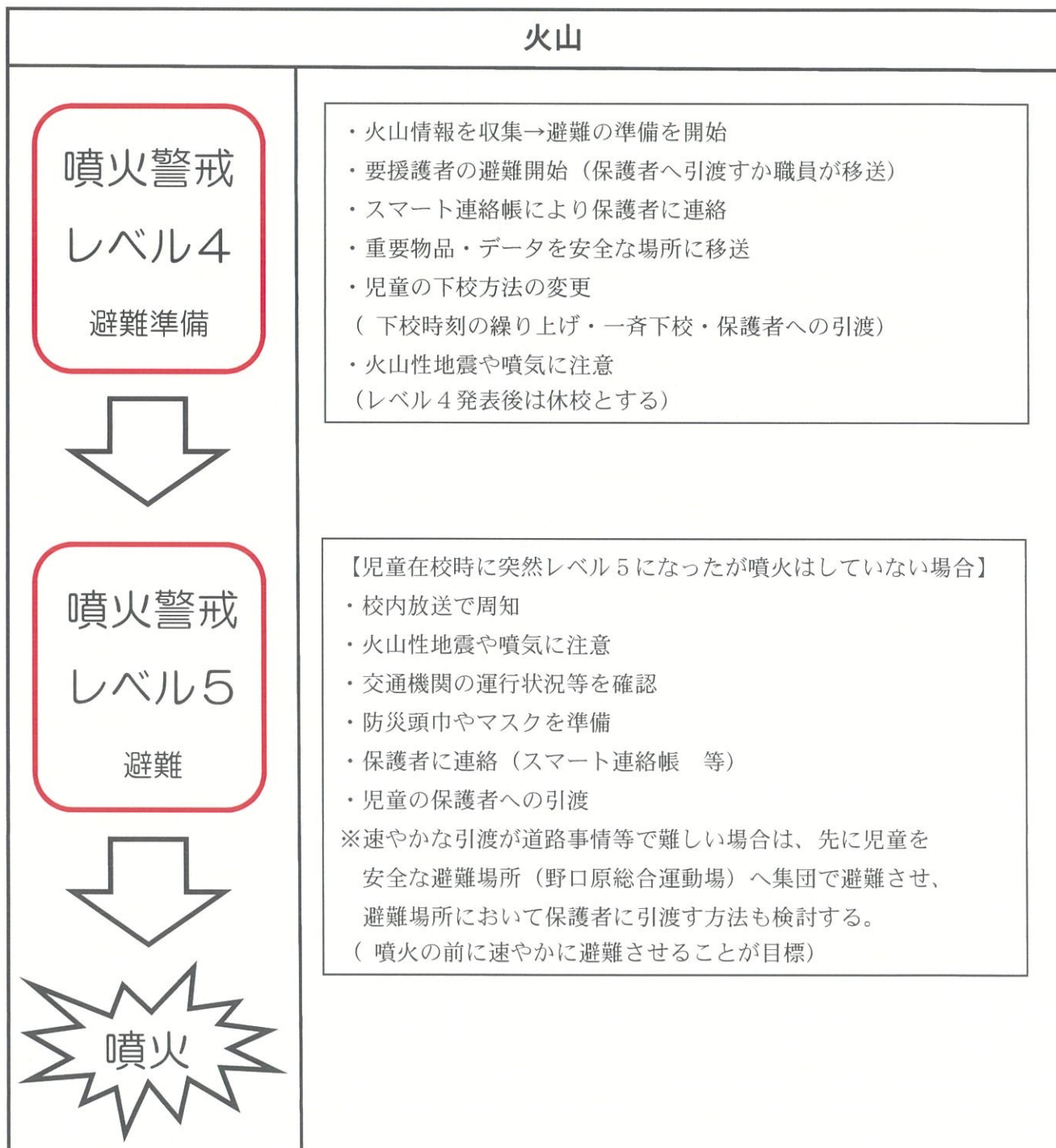
火山噴火の避難対応

① 噴火警戒レベル4～5の対応（在校時）

噴火警戒レベル4は、水害における避難準備に相当する。避難に時間を要する場合はこのレベルで避難を開始する。

避難時には人命優先。重要物品やデータは、レベル4のうちに安全な場所に移動させる。

事前の対応（噴火警戒レベル4～5 在校時）



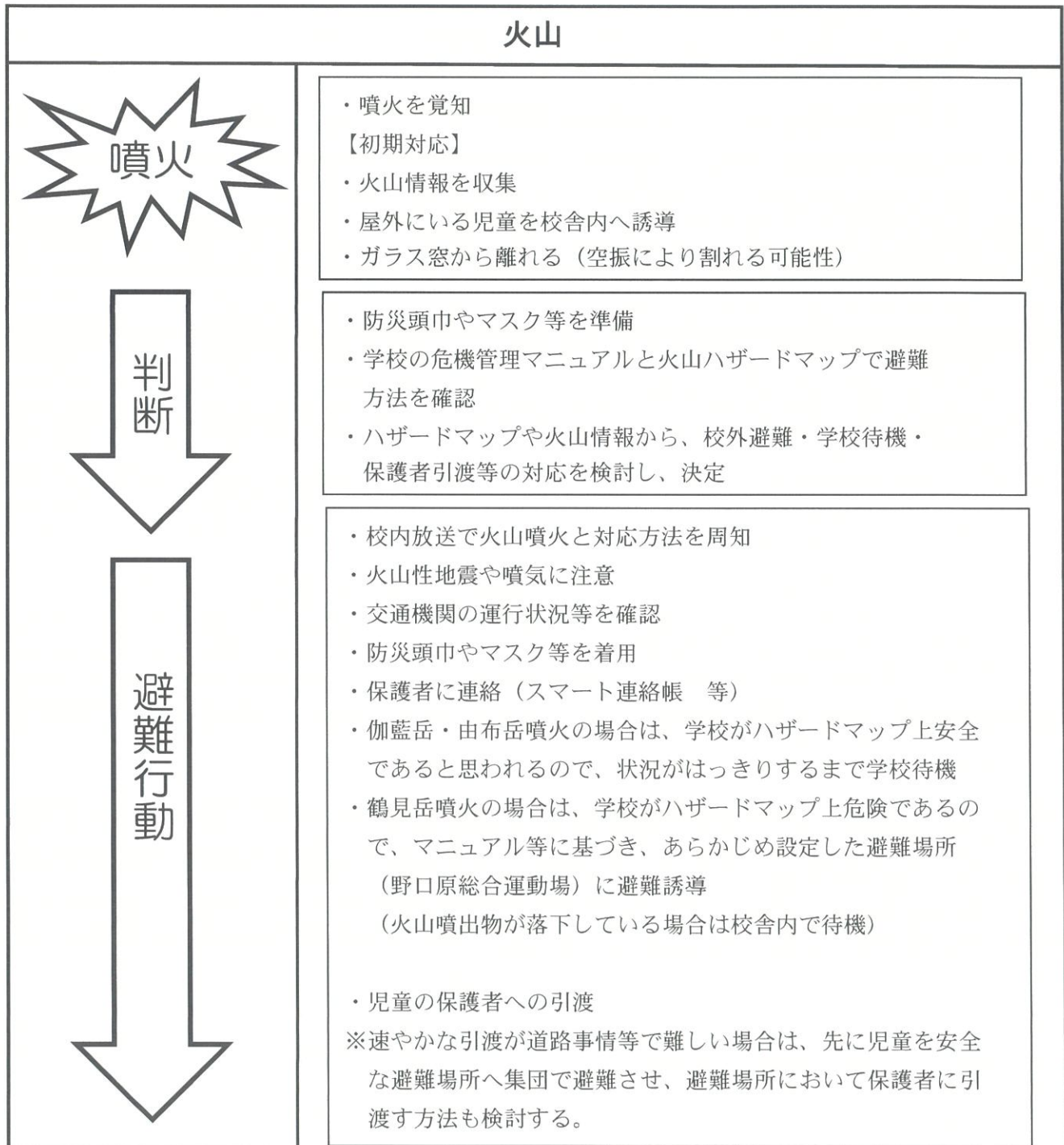
② 突然噴火した場合の対応（在校時）

前兆現象がなく突然噴火した場合には、火山噴出物から身を守るため、屋外にいる者は校舎内など頑丈な鉄筋コンクリート造の建物に避難する。

火山灰は目や呼吸器の障害を引き起こすため、マスクを着用するといった対策等を行う。

鶴見岳と伽藍岳のハザードマップを活用して避難方法を検討する。

避難対応（突然噴火した場合 在校時）

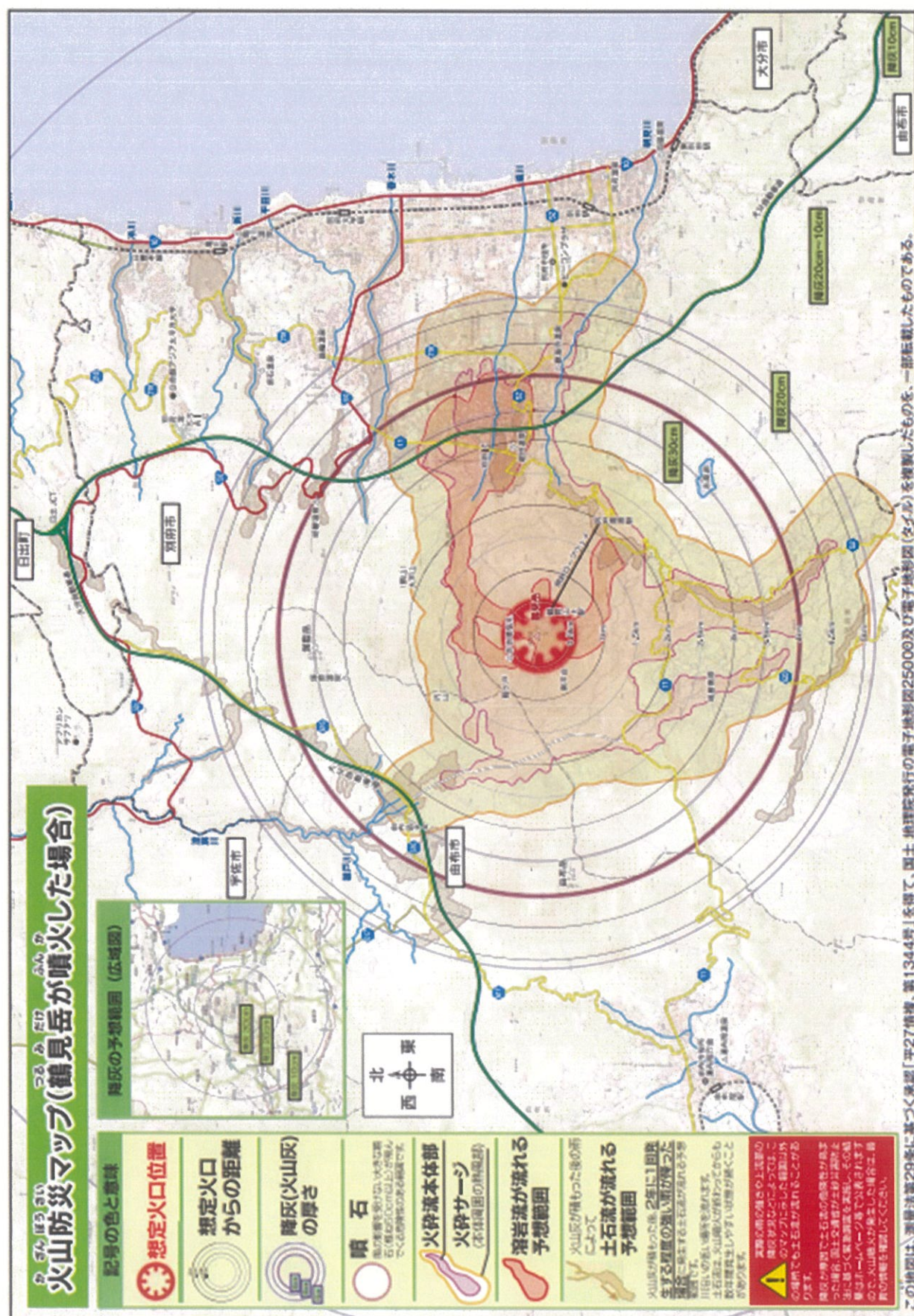


③ 突然噴火した場合の対応（その他）

自宅に児童がいる場合や登下校中に火山噴火に遭遇した場合も、初期対応は②に記載した内容と同様の対応をする。（頑丈な建物に避難・目や口を保護）

但し、ハザードマップをその場で見ることは難しいため、学校の防災教育の一環として学校が所在する地域にある火山（鶴見岳・伽藍岳）のハザードマップを児童生徒が調べたり、火山の専門家、市町村の防災担当者による講演会などの取組を検討する。

できるだけ保護者も参加した学習の機会を設けるようにする。





避難訓練（地震・火事）計画（案）

市内一斉安全確保行動訓練「シェイクアウト別府」参加

◎目的：○地震の揺れから身を守る安全確保行動を身に付けるための訓練を行う。

○地震・火災が発生した時に安全に避難するための訓練を行う。

◎実施日時：令和 年 月 日（ ） 12:00～12:15

◎参加対象：明星小学校全校児童・全職員

◎指導と実施内容

訓練想定 令和 年 11月5日（木）12:00～

大分県中部を震源とした大地震が発生。

別府市では震度6の揺れを観測し多くの建物が倒壊、負傷者も発生。

地震に伴う火災が家庭科室で発生。

事前指導（指導内容）

① 市内一斉安全確保行動訓練であることを予告する。

・大地震発生の場合（サイレン20秒）とともに、「低く 頭を守り 動かない」

・1分間の安全確保行動

② 落ち着いて連絡を聞き、その指示によって行動するように伝える。

・火災の場合、行動を起こすと同時に窓を閉める。

・素早く整列をする。

・クラスの友だちが不在の場合、すぐ担任へ知らせる。

・絶対に静かにする。

・避難の途中、前の友達を押さない。

押さない。走らない。静かにする。振り向かない。「お・は・し・ふ」

避難

・緊急放送により避難を開始する。

・第1避難場所（芝グラウンド）に避難する。

〔緊急放送〕 『明星小学校、避難訓練中。ただいまの地震により家庭科室より火災が発生しました。児童の皆さんは直ちに避難して下さい。』 【繰り返し】

◎反省の視点

・事前、事後の学級指導との関連は適切にとれていたか。

・火災・地震・防犯の避難に関する知識や心構えができていたか。

・児童は、まじめな態度で訓練に参加していたか。

・状況に応じた避難経路、避難場所がわかったか。

・避難時の基本的態度「避難するときは、押さない。走らない。静かにする。振り向かない。」を理解し、行動できたか。

◎訓練の概要

12:00	大地震発生の場合 サイレン20秒 (校内放送) ただ今より、避難訓練を開始します。 ただ今、別府市に大きな地震が発生しました。児童の皆さんは机の下に隠れてください。 (児童) ・机の下に入る。 ・緊急放送終了と同時に避難の準備をする。	(教師) ・児童に指示。 ・ヘルメットの準備 ・机の下に隠れる。
-------	--	---

12:03	・状況により、避難経路を理解し、最後まで放送を聞く。 <緊急放送> ただ今の地震により、家庭科室から火災が発生しました。児童の皆さんは、直ちに避難を開始してください。 ・窓を閉め、整列をする。 ・迅速に避難をする (口をハンカチや手で覆いながら) ・防災頭巾を忘れないようにする ・避難場所で整列をする。 全員が確認できたら、教頭へ報告。 時間計時は教頭。	・担任、専科の先生方は、避難する際に、トイレや専科教室に声かけをしながら避難をする。 ・忘れ物があっても取りに帰らせない。 ・人員点呼をし、副校長に報告をする。
12:07	<講評> ・係から ・校長から 西出口から 早いクラスから並ぶ  東出口から 早いクラスから並ぶ	
12:10	・解散→各教室へ ※三か所の出入り口に、上靴を拭くための濡れ雑巾を準備。	

◎避難経路

各クラスに備え付けている、「避難経路図」を参照

	出火場所					
	調理室	職員室	理科室	家庭科室	明豊校舎	体育館
1の1	東	東	東	東	ホール	東
1の2	東	東	東	東	ホール	東
2の1	東	東	東	東	職員室	東
2の2	東	東	東	東	職員室	東
3の1	体育館	体育館	体育館	体育館	体育館	西階段→玄関
3の2	体育館	体育館	体育館	体育館	体育館	西階段→玄関
4の1	体育館	体育館	西階段→ホール	西階段→ホール	西階段→ホール	西階段→玄関
4の2	体育館	体育館	西階段→ホール	西階段→ホール	西階段→ホール	西階段→玄関
5の1	東階段→東	東階段→東	東階段→東	体育館	体育館	東階段→東
5の2	東階段→東	東階段→東	東階段→東	体育館	体育館	東階段→東
6の1	東階段→東	東階段→東	東階段→東	東階段→東	東階段→ホール	東階段→東
6の2	東階段→東	東階段→東	東階段→東	東階段→ホール	東階段→ホール	東階段→東

令和 年 月 日

保護者各位

学校法人別府大学 明星小学校
校長 米 持 武 彦

地震発生時の対応のお知らせと保護者引き渡しカード提出のお願い

保護者の皆様には、日頃からの本校教育活動に対するご理解ご協力、誠にありがとうございます。

さて、本校では、地震発生時の対応を協議し、以下のように定めています。ご理解とご協力をお願いいたします。

また、地震発生時の児童の引き渡しにつきましては、引き渡しカードを元に行います。カードの記入および提出をお願いします。

<学校の管理下で、震度5（強・弱）以上の地震が発生した場合>

1 授業について

- (1) 中断し、運動場（体育館）に避難します。以降臨時休業とします。
- (2) 児童は、子どもだけの下校は危険につき、学校待機としますので、保護者等によるお迎えをお願いします。
- (3) 翌日以降の授業の実施等については後ほど学校メール（マメール）等で連絡します。

2 児童の引き渡しについて

- (1) 地震発生時以降、児童は、教室・体育館・運動場のいずれかで待機していますので、なるべく早い時間に、ご家族等で引き取りに来てください。
引き渡し場所に来られましたら、順にお並びください。
- (2) 引き渡しの際は、引き渡しカードに、登録していただいた方にのみ、児童をお引き渡します。
- (3) 未登録の方がお迎えに来た場合は、児童との確認後の引き渡しとなります。
- (4) 児童の引き取りに来られる場合は、道路状況等によりませんが、徒歩が望ましいです。
車で来られる場合は、明豊キャンパス正門から入られ、北門から出る一方通行でお願いします。
※裏面の「児童引き渡し時の車での入校・出校」をご覧ください。

3 保護者引き渡しカードの作成について

別紙「保護者引き渡しカード」を2部作成して 日（ ）までに、担任にご提出ください。

1部を学校で保管します。もう1部はご家庭で保管してください。

4 その他

震度4以下の場合は、基本的に通常授業を続けます。但し、その時の状況により、学校メール（マメール）等でお知らせする事もあります。

児童引き渡し時の車での入校・出校

正門より入校して北門より、出校してください。一方通行をお願いします。



保護者引き渡しカード

年 組 番		氏名	
住所			
保護者名		緊急 連絡先	
兄弟姉妹	年 組 氏名	年 組 氏名	
	年 組 氏名	年 組 氏名	
特記事項			

※特記事項がなければ空欄でよいです。

引き渡し時 引き取りに来る方の氏名	続き柄	連絡先	引き渡し日時	
①			月 時	日 分
②			月 時	日 分
③			月 時	日 分
④			月 時	日 分
⑤			月 時	日 分

※引き取りに来る方の氏名は保護者を含め、可能性の高い順にご記入ください。

※2部作成してください。1部は学校で保管します。1部はご家庭で保管してください。



おおいたマイ・タイムライン ～わが家の避難計画～

Ver.3(R3.5.20改訂)

警戒レベルと警戒レベル相当情報(防災気象情報)				
警戒レベル1 早期注意情報 (気象庁が発表) 今後、気象状況悪化のおそれあり	警戒レベル2 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁が発表) 気象状況悪化 氾濫注意情報	警戒レベル3 高齢者等避難 (市町村が発令) 災害のおそれあり 警戒レベル3相当情報 大雨・洪水警報 氾濫警戒情報	警戒レベル4 避難指示 (市町村が発令) 災害のおそれが高まっている 警戒レベル4相当情報 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 高潮警報	警戒レベル5 緊急安全確保 (市町村が発令) 災害発生または切迫 大雨特別警戒 氾濫発生情報 高潮氾濫発生情報
警戒レベルに応じた家族の行動				
災害への心構えを高める	自分や家族の避難行動を確認	高齢者等は危険な場所から避難	危険な場所から全員避難	命の危険、直ちに安全確保
もうすぐ避難開始！		全員避難完了！ 自宅内の安全な場所へ避難 2階以上に避難		

日頃から調べておくこと、備えておくこと

わが家の災害リスク・避難先	非常持出品	情報収集ツール
☐ 浸水する深さ 想定 ()m ☐ 近隣河川までの距離 ()m ☐ 土砂災害警戒区域に入っている・いない ☐ 避難先①()まで、徒歩・車で()分 ☐ 避難先②()まで、徒歩・車で()分 ※自宅が危険な区域ではない場合や、マンションなど頑丈な建物の場合は、屋内待機や垂直避難(建物内の2階以上) ☐ 避難先までの危険な場所・特徴 ()	☐ 食料品 ☐ 飲料水 ☐ 貴重品 ☐ 着替え ☐ 懐中電灯 ☐ 毛布 ☐ 携帯電話の充電器 ☐ 電池 ☐ マスク ☐ アルコール消毒液 ☐ 体温計 ☐ ハザードマップ ※忘れてませんか？ ☐ 常備薬 ☐ お薬手帳 ↓その他に準備する物も書いておこう！	☐ おおいた防災アプリ ☐ 県民安全・安心メール ☐ 市町村防災メール ☐ テレビ ☐ 防災ラジオ



おおいたマイ・タイムライン ～わが家の避難計画～

Ver.3(R3.5.20改訂)

警戒レベルと警戒レベル相当情報(防災気象情報)				
警戒レベル1 早期注意情報 (気象庁が発表) 今後、気象状況悪化のおそれあり	警戒レベル2 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁が発表) 気象状況悪化 氾濫注意情報	警戒レベル3 高齢者等避難 (市町村が発令) 災害のおそれあり 警戒レベル3相当情報 大雨・洪水警報 氾濫警戒情報	警戒レベル4 避難指示 (市町村が発令) 災害のおそれが高まっている 警戒レベル4相当情報 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 高潮警報	警戒レベル5 緊急安全確保 (市町村が発令) 災害発生または切迫 大雨特別警戒 氾濫発生情報 高潮氾濫発生情報
警戒レベルに応じた家族の行動				
災害への心構えを高める	自分や家族の避難行動を確認	高齢者等は危険な場所から避難	危険な場所から全員避難	命の危険、直ちに安全確保
もうすぐ避難開始！		全員避難完了！ 自宅内の安全な場所へ避難 2階以上に避難		

日頃から調べておくこと、備えておくこと

わが家の災害リスク・避難先	非常持出品	情報収集ツール
☐ 浸水する深さ 想定 (3)m ☐ 近隣河川までの距離 (250)m ☐ 土砂災害警戒区域に入っている (いる) ☐ 避難先①(お母さんの家)まで、徒歩・車で(10)分 ☐ 避難先②(大分公民館)まで、徒歩・車で(7)分 ※自宅が危険な区域ではない場合や、マンションなど頑丈な建物の場合は、屋内待機や垂直避難(建物内の2階以上) ☐ 避難先までの危険な場所・特徴 (避難先1道路が狭い 避難先2長い階段がある、街灯が少ない)	☒ 食料品 ☒ 飲料水 ☒ 貴重品 ☒ 着替え ☒ 懐中電灯 ☒ 毛布 ☒ 携帯電話の充電器 ☒ 電池 ☒ マスク ☒ アルコール消毒液 ☒ 体温計 ☒ ハザードマップ ※忘れてませんか？ ☒ 常備薬 ☒ お薬手帳 ↓その他に準備する物も書いておこう！ 紙オムツ 生理用品 ドッグフード ビニール手袋 タオル ウェットティッシュ	☒ おおいた防災アプリ ☒ 県民安全・安心メール ☒ 市町村防災メール ☒ テレビ ☒ 防災ラジオ ☒ 大分地方気象台HP ☒ おおいた防災ポータル